

算数オンライン塾 9月23日の問題解説

(1) 品物 A の定価は $800 \times 1.1 = 880$ 円で、1 個について 80 円の利益です。一方品物 B の仕入れ値を【1】とすると、定価は【1.3】で、【0.3】の利益です。A と B の売れた個数の比が 3 : 2 で、得られた利益は A と B が同じなので、 $80 \times (3) = \text{【0.3】} \times (2)$ から $\text{【0.3】} = 120$ 円

$$\text{【1】} = 120 \div 0.3 = 400 \text{ 円}$$

(答え) 400 円

(2) 最初の日に売れた個数を (10) とすると、A は (6)、B は (4) 売れたので、 $80 \times (6) + 120 \times (4) = (480) + (480) = (960)$ が全体の利益です。

次の日は売れた個数は (10) ですが 1 : 1 で売れたので A も B も (5) 売れました。

したがって値引きがなければ、 $80 \times (5) + 120 \times (5) = (1000)$ の利益になりますが、値引きをしたので、 $(960) \div 2 = (480)$ の利益しかありません。したがって $(1000) - (480) = (520)$ が値引きの総額になるので、 $(520) \div (10) = 52$ 円が 1 個あたりの値引き額です。

(答え) 52 円